

新ケミカル商事

好調を持続し、川下展開・M&Aにも意欲

新ケミカル商事は化学品・炭素材・肥料・樹脂・建材の5つの事業を展開している。このうち建材は原料価格高騰などの課題はあるものの堅調に推移している。代表的な窒素肥料の1つである硫酸は、肥料不足の中で価格が上昇している。樹脂も目下懸念はないが、今後の脱プラスチックの流れに備えている。

同社はアジアを中心に海外展開を積極的に進めているが、中国では、上海でのコロナ禍でサプライチェーンに影響があったものの好調を持続。さらにチャイナプラスワンで台湾での事業も立ち上げている。

環境関連も順調に伸びている。溶剤リサイクル事業は廃薬品再生も加わり順調に動いている。樹脂の再生事業では紙と廃プラからつくるRPF燃料の需要が燃料高騰もあって拡大。SDGs推進ではケニアでのペットボトル再資源化の実証事業にも取り組んでいる。

今後について油嶋武晴社長は「商社なので売り上げは大きい財務体質強化もポイントで、利益率の高い川下展開も進めたい」と語る。また、これまで積極的なM&Aで事業を拡大してきたが、新たなM&Aにも意欲を見せている。